

所 管 事 務 調 査 報 告

平成 2 8 年 7 月 8 日

薩摩川内市議会総務文教委員会

委員長 持 原 秀 行

1 調査事項

- (1) 防災行政について
- (2) 市有財産の管理及び利活用について
- (3) 文化財の保全・利活用及び文化振興について

2 調査先

兵庫県豊岡市、N P O 法人里山ねっと・あやべ（京都府綾部市）、兵庫県丹波市

3 調査日

5 月 1 7 日から 1 9 日まで（3 日間）

4 出席委員

持原委員長、帯田副委員長、井上委員、今塩屋委員、福元委員、徳永委員

5 調査目的

大規模な自然災害を受けたことのある自治体の防災対策の取組状況と、他市における閉校跡地の活用策及び恐竜化石を活用した取組について調査し、本市における今後の施策展開の課題等を調査する。

6 調査概要

(1) 防災対策について（兵庫県豊岡市）

豊岡市では、平成 1 6 年の台風 2 3 号による大雨で、市街地を流れる一級河川円山川の堤防が決壊するなどして、全壊 3 3 3 棟を含む 8 , 2 2 9 棟の住家被害と死者 7 人の人的被害が出た。

円山川は、中流域の勾配が急で、下流域は非常に緩やかな流下能力の低い河川であることから、大雨により増水した内水が排水されにくく、同市街地を中心に浸水被害が発生している。

また、同市とその周辺では、大正 1 4 年と昭和 2 年に、震度 6 の強い地震が起こり、特に、大正 1 4 年の北但馬地震は、同市街地で発生した大規模な火災により死者 4 0 0 人を超える甚大な被害をもたらした。

現在、同市では地域防災計画において、市民や地域、事業者の果たすべき役割を定め、市民に 3 日分以上、可能であれば 1 週間分の食糧や飲料水の備蓄に努めるよう周知をしている。また、浸水想定区域内にある 3 階建て以上の鉄筋コンクリート造りの建物を、地域の避難ビルとして指定する取組を行うとともに、長期避難所生活のために、畳と段ボールベッドを手配できるよう畳や段ボールの製造業界の団体と協定を締結している。

なお、五つの支所に地域対策本部が設置された際には、当該支所の職員のほか、本庁職員が各地域対策本部に派遣されることとなっているが、職員数

が減少する中、現体制の維持に苦慮しているとのことであった。

(2) 閉校跡地を活用した取組について（NPO法人里山ねっと・あやべ）

綾部市では、平成11年3月に閉校となった豊里西小学校を活用して平成12年9月に綾部市里山交流研修センターを設置している。

研修センターは、恵まれた自然環境や歴史・風土などの地域資源を活用しながら都市と農村の交流を図ることを目的に設置されており、旧校舎の1階に研修室、体験室、食堂・浴室が、2階には宿泊室が設けられ、指定管理者として、NPO法人の「里山ねっと・あやべ」に管理及び運営が委託されている。利用者は年間9,000人程度で、そのうち約1割の900人が宿泊をし、利用者の多くは米作り塾、そば塾、森林ボランティア活動等に参加している。

また、京都府は、綾部市を含む京都府中部地域を「森の京都」として、エコツーリズムなどの観光交流の推進を目指しており、研修センターの利用促進を目指して施設更新も計画されているとのことであった。

(3) 恐竜化石を活用した取組について（兵庫県丹波市）

平成18年8月、丹波市山南町上滝の篠山川河床で、地元の地学愛好者により恐竜化石が発見され、その後、尾椎や肋骨などがつながった状態の化石が発掘されるなど、6次にわたる発掘調査の結果、植物食恐竜の化石であることが判明し、「丹波竜」と命名された。

発掘された恐竜化石は、兵庫県が調査・研究を行い、丹波市が恐竜化石の展示や広報を行うこととなり、現在、発掘現場近くの山南支所横に整備された展示施設では、丹波竜の全身骨格やその他発掘された恐竜化石のレプリカの展示を行っている。

また、同市では、丹波竜を活用した観光交流等を図るため、平成20年に「丹波竜の里計画」を策定し、丹波竜発掘現場周辺等には丹波竜のモニュメントを配置した公園や物販施設等が、また、篠山川河床を見下ろす場所には新たな展示室が整備されている。物販施設は、地元住民により運営されており、休日に地元産品の販売や化石発掘体験が行われているとのことであった。

7 所感

- (1) 本市も、今年が鹿児島県北部豪雨から10年の節目の年に当たることから、改めて防災対策を点検し、市民にも、災害発生時にどのように行動するべきか、問題意識を持ってもらうことが必要である。
- (2) 本市でも自然環境に恵まれた閉校跡地が多いことから、綾部市の取組は参考となるものであるが、地域住民の協力を得ながら体験活動や調理・清掃が行われている綾部市の事例を踏まえると、閉校跡地の活用においては地域住民との連携は不可欠なものであると言える。
- (3) 鹿島支所では恐竜化石の展示拡充が計画されていることから、今後は、市内外からの誘客につながるように恐竜化石の情報を積極的に発信する必要がある。